

友好都市特別展

1990年7月21日(土)～8月30日(木)

「イーハトーブ花巻・くらしと文化」

花巻市との交流は、昭和57年4月の市民休養の郷としての提携に始まり、昭和59年4月からは友好都市として一層深まりました。

花巻市は岩手県のほぼ中央部に位置し、東に北上山地、西に奥羽山脈を望み、市域を南北に北上川が流れています。人口は7万余で、岩手県では盛岡市に次ぐ規模をもち、古くから稗貫・和賀地方の中心地として発展してきました。

現在の花巻市への歴史的な基礎がつくられたのは、南部氏の命をうけて郡代に就任した北秀愛、北信愛(松斎)の時代で、16世紀末から17世紀にかけてです。稗貫・和賀地方の政治経済のかなめとしての役割を果たしてきました。

今回の特別展では、こうした花巻市の歴史の一端を絵図などによって紹介するとともに、庶民のあいだに沈着している生活文化に焦点をあててみました。生活の基盤である農耕具や麻織物、ワラ細工、落ちついた彩りをもつ花巻人形、多彩な民俗芸能、さらにこうした風土のなかで生まれた宮沢賢治の文芸などを紹介します。

◎ 特別展会期 7月21日～8月30日(休館：月曜日、7月31日)

◎ 民俗芸能の公演 岩手県無形民俗文化財 円万寺神楽

期日：8月18日(土) 午後2時～

8月19日(日) 午前10時～、午後2時～

会場：博物館 前庭(雨天時は博物館講堂)



◎ プラネタリウム
特別投影

—宮沢賢治の
「双子の星」—

(毎、水・木・土・日曜日の11時、14時投影)

● 花巻市内にはいろいろな神楽が伝承されています。その神楽の一場面です。